

菌

類画ってなんでしょう？ それは菌類の“花”ともいえる“きのこ”の「肖像画」。

小林はそんな新しい絵の分野を切り開いた画家です。自然の中で生きる野生きのこを描いた美しい作品は約900点。その一部はすでに植物や菌類図譜の世界的コレクションを誇る英国キュー王立植物園に収蔵され、最終的には全作品が寄贈される予定です。本展では選び抜かれた菌類画の数々と、きのこの絵本などの原画約150点を展示。楽しいきのこグッズも見られます。第一人者による魅惑のきのこの世界へ、ぜひどうぞ！

～“きのこ”に代わって作者より～

今から32年前、『キノコの不思議』という面妖な本の挿絵を描いたばかりにきのこの世界に迷い込んだ。それまでの幻想的な作品からきのこの絵に。すると、きのこ仲間さえ「きのこの絵なんか売れないし、“仙人”みたいにカスミしか食えなくなるよ」と言った。まさにその通りだったので、絵のサインには名前ではなく、“仙”の字を書くことにした。

そして始まった、山野にきのこを探す至福の日々。台風の八ヶ岳、大雪山のヒグマの巣、海辺の砂山から街の公園の片隅まで、菌類のいないところはなく——菌類が子孫を残すために地上に出す“きのこ”もまた、思い思いの装いを凝らして気まぐれにそこに佇んでいる。そんな神出鬼没な野生きのこ(菌類)の肖像画なので「菌類画」と名付けてみた。この小さい菌類画の窓を覗いて、色も形もさまざまなきのこ達との出会いをお楽しみいただければ幸いです。



キンチャヤマイグチ



ジクホコリ(変形菌)



ベニチャワンタケの一種



キシメジ



キツネノタスマツ

小林路子 きのこに会いに いきましょう! MICHIKO KOBAYASHI 菌類画の世界

小林路子 プロフィール

東京生まれ、東京都在住。1975年～86年、自由美術協会会員。1986年に『キノコの不思議』(光文社)の挿絵できのこの世界に魅せられる。2000年から英国キュー王立植物園に菌類画の寄贈を開始。(現在103点)。主な展示は、2008年～2009年国立科学博物館「菌類の不思議展」特別展示、2011年フィリア美術館「第七回菌類画展」、2015年武蔵野市立吉祥寺美術館「菌類画展」など。主な著作は、絵本『森のきのこ』(岩崎書店)、画集『きのこ』(山と溪谷社)、エッセイ『きのこの迷宮』(光文社)、『森のきのこ探り』(白日社)、絵本図鑑『きのこの絵本』(ハッピーオウル社)、絵本『きのこってなんだろう?』(福音館書店)など。

小林路子 ガラリー・トーク
日時=2018年3月8日(木)
午後2時から(約30分)
会場=美術館「えき」KYOTO

- ※マイクを使用し、会場内を移動しながら解説いたします。
- ※事前申し込み不要。ご参加は無料ですが、美術館入館券は必要です。
- ※混雑した際は、入館制限をさせていただく場合がございます。

美術館「えき」

KYOTO

お問合せ ジェイアール京都伊勢丹
TEL 075(352)1111 (大代表)
<http://kyoto.wjr-isetan.co.jp/museum/>



JR西日本

※イベント内容が変更、または中止になる場合がございます。予めご了承ください。



小林路子

MICHIKO KOBAYASHI

菌類画の世界

きのこに会いに
いきましょう!

2018年
3月8日(木) - 3月25日(日)

会期中無休

開館時間 午前10時 - 午後8時 入館締切 閉館30分前 入館料(税込) 中学生以上500円
 2018年1月29日(月)より3月7日(水)まで前売券販売 販売場所 当館チケット窓口(休館日を除く) チケットぴあPコード
 7681797、ロソンチケット(コード51777) 主催 美術館「えき」KYOTO、NHKサービセンタ―

